

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Yasuhiro NISHIMURA

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: September 24, 2001

Examiner:

For: METHOD OF AND APPARATUS FOR COMMODITY SELLING INTERMEDIATION,
AND COMPUTER PRODUCT



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith
a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-128470

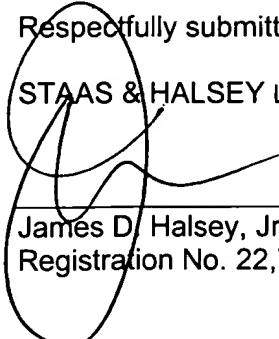
Filed: April 25, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the
requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: September 24, 2001

By: 
James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 4月25日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-128470

出 願 人

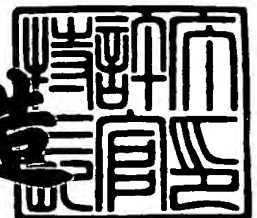
Applicant(s):

富士通株式会社

2001年 7月27日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3067738

【書類名】 特許願

【整理番号】 0151017

【提出日】 平成13年 4月25日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04B 14/00

【発明の名称】 商品販売仲介方法

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 西村 泰洋

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100089118

【弁理士】

【氏名又は名称】 酒井 宏明

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 036711

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9717671

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品販売仲介方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の商品に関する注文情報を顧客に入力させる注文情報入力工程と、

複数の店舗のそれぞれの商品販売価格を参照し、前記注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に前記顧客に比較提示し、いずれか一つの店舗を購入先として前記顧客に選択させる購入先選択工程と、

商品の注文内容に基づいて前記顧客により選択された店舗へネットワークを介して発注をかける発注工程と、

を含むことを特徴とする商品販売仲介方法。

【請求項 2】 前記購入先選択工程では、複数の商品のそれぞれの商品販売価格を少なくとも一部を隠匿した状態で前記顧客に提示することを特徴とする請求項 1 に記載の商品販売仲介方法。

【請求項 3】 注文された複数の商品の運送に関して複数の運送会社のそれぞれの運賃を前記顧客に比較提示し、いずれか一つの運送会社を運送委託先として前記顧客に選択させる運送会社選択工程を含み、前記発注工程では、選択された運送会社へ前記ネットワークを介して運送業務を発注することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の商品販売仲介方法。

【請求項 4】 前記注文情報に含まれる商品の配送予定日時より前に、当該商品の配送状況を前記ネットワークを介して前記運送会社に問い合わせ、配送予定に変更が生じた場合、その旨を前記顧客に通知する配送予定変更通知工程を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の商品販売仲介方法。

【請求項 5】 顧客から指定された複数の商品に関する注文情報を、ネットワークで接続されたサーバへ送信する送信工程と、

前記送信した注文情報に対応して前記サーバから送られてくる、前記複数の商品のそれぞれの少なくとも一部を隠匿した状態の商品販売価格と、該複数の商品の合計金額とを受信する受信工程と、

前記受信した一部を隠匿した状態の商品販売価格と合計金額とを表示する表示

工程と、

を含むことを特徴とする商品販売仲介方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、顧客と店舗との間でネットワークを介して商品を販売するための商品販売仲介方法に関するものであり、特に、オンライン上で複数の商品を購入する場合の顧客の利便性を高めることができ、購入価格の低減にも貢献することができる商品販売仲介方法に関するものである。

【0002】

近時、インターネットの普及により、インターネットを介して商品を購入するというオンラインショッピングが一般的になりつつある。このことから、オンラインショッピングを展開する企業では、益々普及するであろうオンラインショッピングの利便性を追求する動きが活発化している。

【0003】

【従来の技術】

従来のオンラインショッピングでは、顧客がインターネットを介してオンラインショッピングサーバにアクセスし、商品一覧の中から所望の商品を注文している。この注文を受けると、店舗では、取引先の運送会社に当該商品の配送を委託する。これにより、当該商品は、数日後に運送会社により顧客に配送される。また、注文時に入力される決済情報に基づいて、商品の購入代金が決済される。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、従来のオンラインショッピングにおいて、商品を単品で購入する際、購入者は、複数のオンラインショップにおける当該商品の販売価格を比較し、最も安価な商品を購入する場合が多い。従って、単品購入という観点からすれば、オンラインショッピングは、販売価格を容易に比較することができるため、利便性が高く、安価に購入可能な方法であるといえることができる。

【0005】

しかしながら、店舗にとっては、常に他店の販売価格と比較されるため、自店での購入を促進させようとしすぎるあまり、限度のない低価格競争におちいるというリスクが生じている。

【0006】

また、顧客にとっては、単品毎の価格比較は容易であるが、従来のオンラインショッピングにおいて、生活必需品等のように複数の商品をまとめて購入する場合には、利便性が悪く、コスト面で高くつく場合がある。すなわち、上記まとめ買いでは、複数の商品の合計金額を集計する作業を店舗毎に行わなければならない非常に面倒である。

【0007】

このことから、たいていの購入者は、店舗間における上記合計金額の比較を行うことなく、固定の店舗で常時購入しており、低コストで商品を購入できるという機会をみすみす逃しているのが現実である。

【0008】

また、従来のオンラインショッピングでは、商品の運送に際して運送会社の選択権が店舗側にあるため、店舗固有の取引事情により固定的に運送会社に委託される場合が多い。しかしながら、近時、各運送会社では、顧客獲得を目指して、運賃体系やサービス内容の見直しを逐次行っている。このことから、店舗側の都合により固定的に運送会社を採用した場合には、他の運送会社のほうが運賃が安いという顧客にとって絶好の機会を損失させる可能性が高いという危惧がある。

【0009】

本発明は、上記に鑑みてなされたもので、オンライン上で複数の商品を購入する場合の顧客の利便性を高めることができ、購入価格の低減に貢献することができる商品販売仲介方法を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、複数の商品に関する注文情報を顧客に入力させる注文情報入力工程と、複数の店舗のそれぞれの商品販売価格を参照し、前記注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に前記顧客に比較提示し、いず

れか一つの店舗を購入先として前記顧客に選択させる購入先選択工程と、商品の注文内容に基づいて前記顧客により選択された店舗へネットワークを介して発注をかける発注工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

この発明によれば、商品を販売する複数の店舗のそれぞれの商品販売価格を参照し、顧客により注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に顧客に比較提示した後、いずれか一つの店舗を購入先として顧客に選択させ、当該店舗に発注をかけるようにしたので、複数の店舗間の合計金額を容易に比較できるようになり、顧客の利便性を高めることができるとともに、商品の購入価格の低減に貢献することができる。

【 0 0 1 2 】

また、本発明は、顧客から指定された複数の商品に関する注文情報を、ネットワークで接続されたサーバへ送信する送信工程と、前記送信した注文情報に対応して前記サーバから送られてくる、前記複数の商品のそれぞれの少なくとも一部を隠匿した状態の商品販売価格と、該複数の商品の合計金額とを受信する受信工程と、前記受信した一部を隠匿した状態の商品販売価格と合計金額とを表示する表示工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

この発明によれば、サーバへ送信した注文情報に対応してサーバから送られてくる、複数の商品のそれぞれの少なくとも一部を隠匿した状態の商品販売価格と、該複数の商品の合計金額とを受信し、受信した一部を隠匿した状態の商品販売価格と合計金額とを表示するようにしたので、商品仕入れルートや販売戦略の相違による店舗間の商品価格差によらず、合計金額で低価格をアピールする機会を店舗に与えることができ、また、限度を超えた店舗間の低価格競争を避けることができる。

【 0 0 1 4 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明にかかる商品販売仲介方法の一実施の形態について詳細に説明する。

【0015】

図1は、本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。同図には、顧客クライアント $100_1 \sim 100_n$ 、店舗クライアント $300_1 \sim 300_m$ 、運送会社クライアント $400_1 \sim 400_s$ および商品販売仲介装置500のそれぞれがインターネット200に接続されてなる商品販売仲介システムが図示されている。なお、同図においては、説明を簡単にするために、インターネット接続上必要な通信装置（ターミナルアダプタ、ルータ、ファイアウォール等）の図示が省略されている。

【0016】

顧客クライアント $100_1 \sim 100_n$ は、商品をオンライン販売する店舗の顧客側にそれぞれ設置された n 台のコンピュータ装置であり、TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) に従って、後述する商品販売仲介装置500にインターネット200を介してアクセスする。これらの顧客クライアント $100_1 \sim 100_n$ のそれぞれは、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボード、マウス等から構成されている。

【0017】

また、顧客クライアント $100_1 \sim 100_n$ は、上記商品の選択、決済情報の入力等に用いられる。さらに、顧客クライアント $100_1 \sim 100_n$ には、メーラ（図示略）およびブラウザが備えられている。このメーラは、図示しないメールサーバを介して電子メールを送信／受信するための機能を提供する。

【0018】

この電子メールの送信／受信には、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) やPOP3 (Post Office Protocol version 3) が利用される。ブラウザは、商品販売仲介装置500により提供される各種画面（図15～図23参照）を閲覧するためのコンピュータプログラムである。

【0019】

店舗クライアント $300_1 \sim 300_m$ は、商品をオンライン販売する店舗にそれぞれ設置された m 台のコンピュータ装置であり、TCP/IPに従って、後述する商品販売仲介装置500にインターネット200を介してアクセスする。こ

これらの店舗クライアント $300_1 \sim 300_m$ のそれぞれは、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボード、マウス等から構成されている。また、店舗クライアント $300_1 \sim 300_m$ は、商品販売仲介装置 500 への商品情報の登録や、注文情報の受信等に用いられる。ここで、店舗では、商品のオンライン販売の他に、対面販売も行っている。

【0020】

運送会社クライアント $400_1 \sim 400_s$ は、運送会社にそれぞれ設置された s 台のコンピュータ装置であり、TCP/IP に従って、後述する商品販売仲介装置 500 にインターネット 200 を介してアクセスする。これらの運送会社クライアント $400_1 \sim 400_s$ のそれぞれは、コンピュータ本体、ディスプレイ、キーボード、マウス等から構成されている。

【0021】

また、運送会社クライアント $400_1 \sim 400_s$ は、運送会社情報の登録や、運送の受託等に用いられる。ここで、運送会社は、顧客から商品のオンライン注文を受けた店舗の商品を当該顧客へ運送する会社である。なお、店舗で独自に運送システムを有している場合には、運送会社に委託することなく店舗側で商品の運送処理が実行されてもよい。

【0022】

商品販売仲介装置 500 は、店舗クライアント $300_1 \sim 300_m$ に対応する m 箇所の店舗で取り扱っている複数の商品をインターネット 200 経由で顧客に提示し、購入希望の商品の合計金額を店舗毎に提示する機能を備えている。ここで、商品の販売価格は、仕入れルートや販売戦略の相違により店舗毎に異なるのが一般的である。この場合、購入希望の商品の合計金額も店舗毎に異なる。

【0023】

また、商品販売仲介装置 500 は、店舗毎に提示された商品の合計金額に基づいて、複数の店舗の中から購入先の店舗を顧客に選択させ、選択された店舗に対してインターネット 200 を介して注文処理を実行する機能を備えている。さらに、商品販売仲介装置 500 は、インターネット 200 を介して運送会社に当該店舗から顧客への商品の運送依頼処理を実行する機能を備えている。

【 0 0 2 4 】

商品販売仲介装置 5 0 0 において、通信制御部 5 1 0 は、TCP / IP に従ってインターネット 2 0 0 を介して顧客クライアント 1 0 0₁ ~ 1 0 0_n、店舗クライアント 3 0 0₁ ~ 3 0 0_m および運送会社クライアント 4 0 0₁ ~ 4 0 0_s との間の通信を制御する。制御部 5 2 0 は、商品販売仲介機能を実現するための各種制御を行う。

【 0 0 2 5 】

具体的には、制御部 5 2 0 は、メイン制御部 5 3 0、メール制御部 5 4 0、登録制御部 5 5 0 および画面生成部 5 6 0 から構成されている。メイン制御部 5 3 0 は、商品販売仲介に関する制御を実行する。このメイン制御部 5 3 0 の動作の詳細については後述する。メール制御部 5 4 0 は、電子メールの送受信を制御する。登録制御部 5 5 0 は、後述する各種データベースへの情報登録に関する制御を実行する。画面生成部 5 6 0 は、後述する各種画面（図 1 5 ~ 図 2 3 参照）を生成する。バス 5 7 0 は、商品販売仲介装置 5 0 0 の各部を接続する。

【 0 0 2 6 】

商品情報データベース 6 0 0 は、店舗クライアント 3 0 0₁ ~ 3 0 0_m に対応する m 箇所の店舗でオンライン販売される全ての商品に関する商品情報を格納するデータベースである。具体的には、図 2 に示したように、商品情報データベース 6 0 0 は、「JAN (Japan Article Number) コード」、「商品名」、「メーカーコード」、「希望小売価格」、「商品画像」、「商品カテゴリコード」、「商品サイズ」、「商品重量」、「組み合わせフラグ」および「個数」というフィールド等を備えている。

【 0 0 2 7 】

「JAN コード」は、各メーカーの各商品を一意に識別するためのコードであって、商品に付されるバーコードに対応する 1 3 桁の数字に関する情報である。「商品名」は、商品の名称に関する情報である。「メーカーコード」は、商品を製造しているメーカーを識別するためのコードに関する情報である。「希望小売価格」は、商品のメーカーが希望する小売価格（定価）に関する情報である。「商品画像」は、商品の画像ファイルに関する情報である。

【 0 0 2 8 】

「商品カテゴリコード」は、商品のカテゴリに関する情報である。「商品サイズ」は、商品のサイズ（縦＋横＋高さ）に関する情報である。「商品重量」は、商品の重量に関する情報である。「組み合わせフラグ」は、当該商品が複数の商品の組み合わせから構成されているか否かを表すフラグである。「個数」は、例えば、複数個をひとまとめにして販売するような場合の商品の個数に関する情報である。

【 0 0 2 9 】

図 1 に戻り、商品カテゴリ情報データベース 6 1 0 は、当該商品のカテゴリを表す商品カテゴリ情報を格納するデータベースである。具体的には、商品カテゴリ情報データベース 6 1 0 は、図 3 に示したように、商品のカテゴリを識別するための「商品カテゴリコード」（図 2 参照）と、上記カテゴリに関する「商品カテゴリ」と、「備考」というフィールド等を備えている。この「商品カテゴリコード」は、商品情報データベース 6 0 0 の「商品カテゴリコード」と対応している。

【 0 0 3 0 】

図 1 に戻り、メーカ情報データベース 6 2 0 は、商品のメーカに関するメーカ情報を格納するデータベースである。具体的には、メーカ情報データベース 6 2 0 は、図 4 に示したように、メーカを識別するための「メーカコード」（図 2 参照）と、メーカの名称に関する「メーカ名称」と、メーカの住所に関する「住所」というフィールド等を備えている。この「メーカコード」は、商品情報データベース 6 0 0 の「メーカコード」と対応している。

【 0 0 3 1 】

図 1 に戻り、店舗情報データベース 6 3 0 は、店舗クライアント 3 0 0₁ ～ 3 0 0_m にそれぞれ対応する各店舗に関する店舗情報を格納するデータベースである。具体的には、店舗情報データベース 6 3 0 は、図 5 に示したように、店舗を識別するための「店舗コード」と、店舗の名称に関する「店舗名」と、店舗の住所に対応する「店舗市町村コード」と、店舗の住所に関する「住所」と、店舗の電話番号に関する「電話番号」というフィールド等を備えている。

【0032】

図1に戻り、店舗担当者情報データベース640は、当該店舗におけるオンライン販売の担当者に関する店舗担当者情報を格納するデータベースである。具体的には、店舗担当者情報データベース640は、図6に示したように、店舗を識別するための「店舗コード」と、当該店舗におけるオンライン販売の担当者を識別するための「担当者ID」と、オンライン販売を担当する部署名に関する「担当部署名」と、担当者の氏名に関する「担当者名」と、担当部署の電話番号に関する「電話番号」と、担当者の電子メールアドレスに関する「Eメール」というフィールド等を備えている。この「店舗コード」は、店舗情報データベース630の「店舗コード」と対応している。

【0033】

図1に戻り、店舗商品情報データベース650は、各店舗における商品情報に関する店舗商品情報を格納するデータベースである。具体的には、図7に示したように、店舗商品情報データベース650は、店舗を識別するための「店舗コード」と、商品に付されるバーコードに対応する13桁の数字に関する情報「JANコード」（図2参照）というフィールド等を備えている。この「店舗コード」は、店舗情報データベース630の「店舗コード」と対応している。また、「JANコード」は、商品情報データベース600の「JANコード」と対応している。

【0034】

さらに、店舗商品情報データベース650は、当該店舗における商品の販売価格（実売価格）に関する「販売価格」と、商品情報が更新された日付に関する「更新日」と、当該店舗における商品の在庫数に関する「在庫数」と、メーカへの当該商品の発注の可否を表す「発注フラグ」（1：発注必要、0：発注不要）というフィールド等を備えている。

【0035】

ここで、在庫数が、予め設定されるしきい値以下になった場合には、発注が必要とされ、「発注フラグ」が1とされる。例えば、しきい値にあたるデータとして、発注を行う基準値である発注点情報を管理していれば、在庫数と発注点とを

比較して発注が必要かどうかを判断することができる。

【 0 0 3 6 】

図 1 に戻り、店舗運送情報データベース 6 6 0 は、各店舗における商品の運送体制（独自の運送システムによる運送体制または運送会社への委託による運送体制）に関する店舗運送情報を格納するデータベースである。具体的には、店舗運送情報データベース 6 6 0 は、図 8 に示したように、店舗を識別するための「店舗コード」と、当該店舗が配送可能な地域を示す「市町村コード」と、独自の運送システムを用いた場合の運賃に関する「運賃」と、独自の運送システムにより商品の運送の可否を表す「運送可否フラグ」（1：可、0：不可）というフィールド等を備えている。「店舗コード」は、店舗情報データベース 6 3 0 の「店舗コード」に対応している。

【 0 0 3 7 】

図 1 に戻り、注文伝票ヘッダ情報データベース 6 7 0 は、顧客から商品が注文された際に作成される注文伝票のヘッダ情報に関する注文伝票ヘッダ情報を格納するデータベースである。具体的には、注文伝票ヘッダ情報データベース 6 7 0 は、図 9 に示したように、注文毎に付与される「注文番号」と、注文情報が入力された日時に関する「入力日時」と、顧客（注文主）を識別するための「顧客 ID」と、店舗を識別するための「店舗コード」というフィールド等を備えている。

【 0 0 3 8 】

さらに、注文伝票ヘッダ情報データベース 6 7 0 は、顧客の住所に対応する「顧客市町村コード」と、運送会社による商品の集荷予定日時に関する「集荷予定日時」と、商品のお届け希望日時に関する「配送予定日時」と、注文された商品の合計金額に関する「商品合計金額」と、注文された商品の合計サイズに関する「商品合計サイズ」と、注文された商品の合計重量に関する「商品合計重量」と、商品の運送を担当する運送会社を識別するための「運送会社コード」と、商品の運送にかかる運賃に関する「運賃」と、「備考」というフィールド等を備えている。この「店舗コード」は、店舗情報データベース 6 3 0 の「店舗コード」と対応している。

【0039】

図1に戻り、注文伝票ボディ情報データベース680は、上述した注文伝票のボディ情報に関する注文伝票ボディ情報を格納するデータベースである。具体的には、注文伝票ボディ情報データベース680は、図10に示したように、注文毎に付与される「注文番号」と、前述した「JANコード」と、注文された商品の販売価格に関する「販売価格」と、商品のサイズに関する「商品サイズ」と、商品の重量に関する「商品重量」というフィールド等を備えている。この「JANコード」は、商品情報データベース600の「JANコード」および店舗商品情報データベース650の「JANコード」と対応している。

【0040】

図1に戻り、運送情報データベース690は、注文された商品の運送に関する運送情報を格納するデータベースである。具体的には、運送情報データベース690は、図11に示したように、注文毎に付与される「注文番号」と、注文を受けた店舗の住所に関する「店舗市町村コード」と、商品の運送を担当する運送会社を識別するための「運送会社コード」というフィールドを備えている。この「注文番号」は、注文伝票ヘッダ情報データベース670の「注文番号」および注文伝票ボディ情報データベース680の「注文番号」と対応している。

【0041】

さらに、運送情報データベース690は、運送のサービス形態を識別するための「サービスコード」と、当該商品の運送にかかる運賃に関する「運賃」と、運送会社が店舗に商品を集荷する予定日時に関する「集荷予定日時」と、顧客への商品の配送予定日時に関する「配送予定日時」と、「備考」というフィールド等を備えている。この「集荷予定日時」は、注文伝票ヘッダ情報データベース670の「集荷予定日時」と対応している。

【0042】

図1に戻り、顧客情報データベース700は、顧客クライアント100₁～100_nにそれぞれ対応する顧客に関する顧客情報を格納するデータベースである。具体的には、図12に示したように、顧客情報データベース700は、顧客を識別するための「顧客ID」と、商品販売仲介装置500へのアクセス時に用い

られる「パスワード」と、顧客の氏名に関する「氏名」と、顧客の住所に関する「住所」と、顧客の電話番号に関する「電話番号」と、顧客の住所に関する「顧客市町村コード」と、顧客の電子メールアドレスに関する「Eメール」というフィールド等を備えている。

【 0 0 4 3 】

図 1 に戻り、運送会社情報データベース 7 1 0 は、店舗から顧客への商品の運送を担当する運送会社に関する運送会社情報を格納するデータベースである。具体的には、運送会社情報データベース 7 1 0 は、図 1 3 に示したように、運送会社を識別するための「運送会社コード」と、運送会社の名称に関する「運送会社名」と、運送会社の住所に関する「住所」というフィールドを備えている。

【 0 0 4 4 】

また、運送会社情報データベース 7 1 0 は、運送会社の電話番号に関する「電話番号」と、店舗の住所に対応する「店舗市町村コード」と、顧客の住所に対応する「顧客市町村コード」と、商品（荷物）のサイズに関する「サイズ」と、商品（荷物）の重量に関する「重量」と、「店舗市町村コード」に対応する住所から「顧客市町村コード」に対応する住所まで、商品（「サイズ」および「重量」）を運送した場合にかかる運賃に関する「運賃」というフィールド等を備えている。

【 0 0 4 5 】

ここで、運送会社情報データベース 7 1 0 においては、運送会社毎に、「店舗市町村コード」、「顧客市町村コード」、「サイズ」、「重量」の各組み合わせの数だけデータが存在している。また、一実施の形態において、運送会社が、積載量の異なる複数種類のトラックやオートバイ（バイク便）等を用いた複数の運送サービスを提供している場合には、運送会社情報データベース 7 1 0 に運送サービスを識別するための運送サービスコードを持たせて、運送サービス毎に異なる運賃を設定するようにしてもよい。

【 0 0 4 6 】

上述した商品情報データベース 6 0 0、商品カテゴリ情報データベース 6 1 0、メーカー情報データベース 6 2 0、店舗情報データベース 6 3 0、店舗担当者情

報データベース 6 4 0、店舗商品情報データベース 6 5 0、店舗運送情報データベース 6 6 0 および運送会社情報データベース 7 1 0 のそれぞれの情報は、顧客からの受付処理に先立って予め登録されるものである。また、注文伝票ヘッダ情報データベース 6 7 0 および注文伝票ボディ情報データベース 6 8 0 のそれぞれの情報は、顧客から注文を受ける毎に登録される。さらに、運送情報データベース 6 9 0 の情報は、運送会社を利用した配送を含む注文を顧客から受ける毎に登録される。

【 0 0 4 7 】

つぎに、上述した一実施の形態の動作について、図 1 4 に示したフローチャート、および図 1 5 ～ 図 2 4 を参照しつつ説明する。図 1 4 に示したステップ S A 1 では、商品販売仲介装置 5 0 0 のメイン制御部 5 3 0 は、顧客クライアント 1 0 0₁ ～ 1 0 0_n のうちいずれかの顧客クライアントからインターネット 2 0 0 を介して注文要求（アクセス）が有るか否かを判断し、注文要求が無い場合、判断結果を「N o」として同判断を繰り返す。

【 0 0 4 8 】

ここで、例えば、顧客クライアント 1 0 0₁ から注文要求が有ると、メイン制御部 5 3 0 は、ステップ S A 1 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S A 2 では、メイン制御部 5 3 0 は、商品情報データベース 6 0 0（図 2 参照）を参照して、図 1 5 に示した商品一覧画面 8 0 0 を顧客クライアント 1 0 0₁ の表示部（図示略）に表示させる。

【 0 0 4 9 】

この商品一覧画面 8 0 0 には、各店舗でオンライン販売されている商品の一覧が表示されている。具体的には、商品一覧画面 8 0 0 には、商品名、J A N コード、メーカー希望小売価格（定価）、注文用のチェックボックス、注文数量のセレクトボックスおよび商品選択ボタン 8 0 1 が表示されている。ステップ S A 3 では、メイン制御部 5 3 0 は、商品選択ボタン 8 0 1 が押下されたか否かを判断し、商品選択ボタン 8 0 1 が押下されるまで、判断結果を「N o」として同判断を繰り返す。

【 0 0 5 0 】

そして、顧客は、顧客クライアント 1 0 0₁ を操作することにより、商品一覧画面 8 0 0 に表示されている商品一覧の中から、注文すべき商品に対応する注文用のチェックボックスにチェックをし、数量を選択した後、商品選択ボタン 8 0 1 を押下する。これにより、メイン制御部 5 3 0 は、ステップ S A 3 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 0 5 1 】

なお、一実施の形態では、顧客に商品を選択させるための画面として、図 1 5 に示した商品一覧画面 8 0 0 に代えて、図 1 6 に示した商品一覧画面 8 1 0 を用いてもよい。この商品一覧画面 8 1 0 は、商品をチラシ感覚で選択させるための画面であり、商品の画像 8 1 1 ~ 8 1 3 と、これらにそれぞれ対応するメーカー希望小売価格がチラシの紙面のような配置で表示されている。

【 0 0 5 2 】

図 1 4 に戻り、ステップ S A 4 では、メイン制御部 5 3 0 は、商品情報データベース 6 0 0 (図 2 参照) および店舗商品情報データベース 6 5 0 (図 7 参照) から、商品一覧画面 8 0 0 (図 1 5 参照) で選択された商品に対応する J A N コードをキーとして、希望小売価格情報および各取扱店舗での販売価格を検索し、この検索結果に基づいて、図 1 7 に示した店舗別販売価格一覧画面 8 2 0 を顧客クライアント 1 0 0₁ の表示部 (図示略) に表示させる。

【 0 0 5 3 】

この店舗別販売価格一覧画面 8 2 0 には、顧客が注文した商品のメーカー希望小売価格と、各店舗 (同図では、P スーパー、S ストアおよび Q 医薬品チェーン) の販売価格と、店舗毎の合計金額と、各店舗に対応する店舗選択ボタン 8 2 1 ~ 8 2 3 とが表示されている。

【 0 0 5 4 】

また、各店舗の販売価格は、意図的に一部分が非表示とされている。これは、仕入れルートや販売戦略の相違により、店舗間で得意な商品 (値引率が高い商品) と、不得手な商品 (値引率が低い商品) とのバラツキが生じることに起因している。すなわち、上記バラツキを顧客に見せることなく、合計金額で値引率を下げるという企業努力を顧客に提示することを目的としている。従って、顧客は、

店舗間における商品の合計金額の比較結果や、店舗の好感度等を考慮して、注文すべき店舗を選択することが可能となる。

【0055】

図14に戻り、ステップSA5では、メイン制御部530は、図17に示した店舗選択ボタン821～823のいずれか一つの店舗選択ボタンが押下されたか否かを判断し、店舗選択ボタンが押下されるまで、判断結果を「No」として同判断を繰り返す。

【0056】

ここで、顧客により、店舗別販売価格一覧画面820において、Pスーパー、SストアおよびQ医薬品チェーンの中で、最も合計金額が低い「Sストア」（合計金額2480円）が注文先として選択されたものとする。この場合、顧客は、Sストアに対応する店舗選択ボタン822を押下する。これにより、メイン制御部530は、図14に示したステップSA5の判断結果を「Yes」とする。

【0057】

ステップSA6では、メイン制御部530は、図18に示した顧客情報入力画面830を顧客クライアント100₁の表示部（図示略）に表示させる。この顧客情報入力画面830には、顧客により注文された商品に関する注文商品情報831と、顧客の氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス、商品の届け希望日、希望時間等の顧客情報を入力するための顧客情報入力欄832と、配送料を含む合計金額を表示するための合計金額表示ボタン833とが表示されている。

【0058】

図14に戻り、ステップSA7では、メイン制御部530は、合計金額表示ボタン833が押下されたか否かを判断し、合計金額表示ボタン833が押下されるまで、判断結果を「No」として同判断を繰り返す。そして、顧客により、顧客情報入力欄832に顧客情報が入力された後、合計金額表示ボタン833が押下されると、メイン制御部530は、ステップSA7の判断結果を「Yes」とする。

【0059】

なお、一実施の形態では、顧客情報入力画面830の表示に先立って顧客の顧

客ID／パスワードを入力するログイン処理を実行し、これらの顧客ID／パスワードをキーとして顧客情報データベース700（図12参照）から顧客情報を取得した後、この顧客情報を顧客情報入力画面830に表示するようにしてもよい。

【0060】

ステップSA8では、メイン制御部530は、注文内容および入力された顧客情報を顧客に確認させるための内容確認画面を顧客クライアント100₁の表示部（図示略）に表示させる。具体的には、注文先の店舗に関して、店舗運送情報データベース660（図8参照）の運送可否フラグが「1」（独自の運送システムにより運送可能）である場合、メイン制御部530は、図19に示した内容確認画面840を顧客クライアント100₁の表示部（図示略）に表示させる。この内容確認画面840には、注文商品情報841、顧客情報842および内容確認ボタン843が表示されている。

【0061】

一方、注文先の店舗に関して、店舗運送情報データベース660（図8参照）の運送可否フラグが「0」（独自の運送システムにより運送不可、すなわち運送会社による運送体系）である場合、メイン制御部530は、図20に示した内容確認画面850を顧客クライアント100₁の表示部（図示略）に表示させる。この内容確認画面850には、注文商品情報851、顧客情報852および内容確認ボタン853が表示されている。

【0062】

図14に戻り、ステップSA9では、メイン制御部530は、内容確認ボタン843または853（図19または図20）が押下されたか否かを判断し、内容確認ボタン843または853が押下されるまで、判断結果を「No」として同判断を繰り返す。顧客クライアント100₁の表示部に内容確認画面850（図20参照）が表示されており、顧客により内容確認ボタン853が押下されると、メイン制御部530は、ステップSA9の判断結果を「Yes」とする。

【0063】

ステップSA10では、メイン制御部530は、顧客クライアント100₁の

表示部（図示略）に図 2 1 に示した運送会社一覧画面 8 6 0 を表示させる。具体的には、メイン制御部 5 3 0 は、注文先の店舗の店舗市町村コード（図 5 参照）および顧客に対応する顧客市町村コード（図 1 2 参照）をキーとして、運送会社情報データベース 7 1 0 を検索する。つぎに、メイン制御部 5 3 0 は、注文商品情報 8 6 1、顧客情報 8 6 2、検索結果に基づく運送会社情報 8 6 3、委託ボタン 8 6 4～8 6 6 からなる運送会社一覧画面 8 6 0（図 2 1 参照）を顧客クライアント 1 0 0₁ の表示部（図示略）に表示させる。

【 0 0 6 4 】

運送会社情報 8 6 3 は、商品の運送を委託可能な運送会社（同図では、A 運送会社、B 運送会社および C 運送会社）毎の、連絡先、運送ルート、運賃、配送料を含む商品注文の合計金額から構成されている。委託ボタン 8 6 4～8 6 6 は、各運送会社に対応して設けられており、複数の運送会社の中から、商品の運送を委託する運送会社を運賃等を考慮して選択するためのボタンである。なお、図 1 9 に示した内容確認ボタン 8 4 3 が押下された場合、すなわち、販売店舗の独自の運送システムを利用する場合には、外部の運送会社の選択が不要となるため、ステップ S A 1 0 およびステップ S A 1 1 がスキップされる。

【 0 0 6 5 】

図 1 4 に戻り、ステップ S A 1 1 では、メイン制御部 5 3 0 は、委託ボタン 8 6 4～8 6 6（図 2 1 参照）のうちいずれか一つの委託ボタンが押下されたか否かを判断し、委託ボタンが押下されるまで、判断結果を「N o」として同判断を繰り返す。ここで、例えば、顧客により、B 運送会社が選択され、委託ボタン 8 6 5 が押下されると、メイン制御部 5 3 0 は、ステップ S A 1 1 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 0 6 6 】

ステップ S A 1 2 では、メイン制御部 5 3 0 は、図 2 2 に示した最終確認画面 8 7 0 を顧客クライアント 1 0 0₁ の表示部に表示させる。この最終確認画面 8 7 0 には、注文商品情報、顧客情報、運送会社情報、支払い合計金額情報および最終確認ボタン 8 7 1 が表示されている。この最終確認画面 8 7 0 は、顧客に注文の最終的な確認を行わせるための画面である。なお、一実施の形態では、最終

確認画面 870 に運送会社の定款等を表示してもよい。

【0067】

図 14 に戻り、ステップ SA13 では、メイン制御部 530 は、最終確認ボタン 871（図 22 参照）が押下されたか否かを判断し、最終確認ボタン 871 が押下されるまで、判断結果を「No」として同判断を繰り返す。そして、顧客は、最終確認画面 870 により、注文内容、顧客情報等が正しいことを確認した後、最終確認ボタン 871 を押下する。これにより、メイン制御部 530 は、ステップ SA13 の判断結果を「Yes」とする。また、メイン制御部 530 は、運送情報を運送情報データベース 690（図 11 参照）に登録する。

【0068】

ステップ SA14 では、メイン制御部 530 は、図 23 に示した決済情報入力画面 880 を顧客クライアント 100₁ の表示部に表示させる。決済情報入力画面 880 は、商品の決済情報（例えば、顧客のクレジットカード情報）を顧客に入力させるための画面である。この決済情報入力画面 880 には、注文商品情報 881、顧客情報 882、運送会社情報 883、決済情報入力欄 884 および支払いボタン 885 が表示されている。

【0069】

決済情報入力欄 884 は、顧客が当該注文に関する代金の支払いに用いるクレジットカードの番号、クレジットカードの名義人および有効期限を入力するための欄である。

【0070】

図 14 に戻り、ステップ SA15 では、メイン制御部 530 は、支払いボタン 885（図 23 参照）が押下されたか否かを判断し、支払いボタン 885 が押下されるまで、判断結果を「No」として同判断を繰り返す。ここで、顧客により、決済情報入力欄 884 に決済情報が入力された後、支払いボタン 885 が押下されると、メイン制御部 530 は、ステップ SA15 の判断結果を「Yes」とする。

【0071】

ステップ SA16 では、メイン制御部 530 は、決済情報入力画面 880（図

23参照)に基づいて、注文伝票ヘッダ情報データベース670(図9参照)および注文伝票ボディ情報データベース680(図10参照)に情報を格納した後、これらの情報を発注情報として、インターネット200を介して、例えば、店舗クライアント300₁へ暗号化送信するという発注処理を実行する。

【0072】

また、メイン制御部530は、図23に示した顧客情報882および運送会社情報883もインターネット200を介して店舗クライアント300₁へ暗号化送信する。これにより、店舗クライアント300₁に対応する店舗(Sストア)では、受信された情報に基づいて、注文伝票、運送伝票等を作成し、注文された商品の仕分け、梱包作業を実施する。

【0073】

図14に戻り、ステップSA17では、メール制御部540(図1参照)は、図24に示した注文確認メール890を作成し、これをインターネット200を介して顧客(注文主)に送信する。この注文確認メール890は、注文内容、合計金額、配送料金、決済情報、注文の配達予定日等を顧客に通知し、注文確認を行うための電子メールである。

【0074】

図14に戻り、ステップSA18では、メイン制御部530は、運送情報データベース690(図11参照)から当該注文に関する運送情報を取得し、これをインターネット200を介して、例えば、運送会社クライアント400₁に送信し、店舗の商品の集荷を依頼するという集荷依頼処理を実行する。これにより、運送会社クライアント400₁に対応する運送会社においては、集荷予定日時に当該店舗にて商品の集荷が行われ、運送処理が実行される。

【0075】

図14に戻り、ステップSA19では、メイン制御部530は、図11に示した配送予定日時を参照し、本日が配送予定日であるか否かを判断し、予定日に達していない場合、判断結果を「No」として同判断を繰り返す。そして、当該商品の配送予定日になると、メイン制御部530は、ステップSA20では、メイン制御部530は、電子メール等を介して、配送予定時刻よりも前に運送会社ク

ライアント 4 0 0₁ に当該商品の配送状況（遅延の有無等）を問い合わせる。

【 0 0 7 6 】

ここで、配送状況が予定通りである場合には、その旨が電子メール等を介して運送会社クライアント 4 0 0₁ から商品販売仲介装置 5 0 0 へ通知される。一方、交通事情等により、配送予定時刻を過ぎる場合には、その旨、遅延理由および最新の配送予定時刻を電子メールを介して運送会社クライアント 4 0 0₁ から商品販売仲介装置 5 0 0 へ通知される。

【 0 0 7 7 】

ステップ S A 2 1 では、メイン制御部 5 3 0 は、運送会社クライアント 4 0 0₁ からの上記電子メールに基づいて、本日配送予定の商品に関して配送遅延があるか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、ステップ S A 2 3 の処理を実行する。

【 0 0 7 8 】

一方、ステップ S A 2 1 の判断結果が「Y e s」である場合、ステップ S A 2 2 では、メール制御部 5 4 0 は、配送遅延のお詫び文、配送の遅延理由、最新の配送予定日時が記述された図 2 5 に示した配送遅延メール 8 9 5 を作成し、これをインターネット 2 0 0 を介して顧客クライアント 1 0 0₁ へ送信する。この配送遅延メール 8 9 5 が顧客クライアント 1 0 0₁ に受信されると、顧客は、配送が遅延している旨、変更後の配送日時を認識する。そして、商品が顧客に届けられると、その旨が電子メールを介して運送会社クライアント 4 0 0₁ から商品販売仲介装置 5 0 0 へ通知される。

【 0 0 7 9 】

ステップ S A 2 3 では、メイン制御部 5 3 0 は、上記電子メールにより商品の到着を確認した後、顧客により入力された決済情報（クレジットカード情報）により、クレジットカード会社から当該商品の注文に関する費用（商品の合計金額＋運賃）をクレジットカード会社に対して請求するという請求処理を実行する。ステップ S A 2 4 では、メイン制御部 5 3 0 は、運賃を当該運送会社へ支払うという精算処理を実行する。

【 0 0 8 0 】

以上説明したように、一実施の形態によれば、インターネット 2 0 0 を介して商品を販売する複数の店舗のそれぞれの商品販売価格（店舗商品情報データベース 6 5 0 参照）を参照し、顧客により注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に顧客に比較提示（図 1 7 参照）した後、いずれか一つの店舗を購入先として顧客に選択（図 1 7 参照）させ、当該店舗に発注をかけるようにしたので、複数の店舗間の合計金額を容易に比較できるようになり、顧客の利便性を高めることができるとともに、商品の購入価格の低減に貢献することができる。

【 0 0 8 1 】

また、一実施の形態によれば、図 1 7 に示したように、複数の商品のそれぞれの商品販売価格の少なくとも一部を隠匿した状態で合計金額を顧客に提示するようにしたので、商品仕入れルートや販売戦略の相違による店舗間の商品価格差によらず、合計金額で低価格をアピールする機会を店舗に与えることができ、また、限度を超えた店舗間の低価格競争を避けることができる。

【 0 0 8 2 】

また、一実施の形態によれば、図 2 1 に示したように、注文された複数の商品の運送に関して複数の運送会社のそれぞれの運賃を顧客に比較提示し、いずれか一つの運送会社を運送委託先として顧客に選択させ、選択された運送会社へインターネット 2 0 0 を介して運送業務を発注するようにしたので、顧客が運賃面のメリットも享受することができる。

【 0 0 8 3 】

また、一実施の形態によれば、注文情報に含まれる商品の配送予定日時より前に、当該商品の配送状況をインターネット 2 0 0 を介して運送会社に問い合わせ、配送予定に変更が生じた場合、その旨を顧客にインターネット 2 0 0 を介して通知するようにしたので、配送遅延など顧客への注意喚起が必要な場合のみ通知が行われるようになり、顧客サービスの質を高めることができる。

【 0 0 8 4 】

また、一実施の形態によれば、商品販売仲介装置 5 0 0 へ送信した注文情報に対応して商品販売仲介装置 5 0 0 から送られてくる、複数の商品のそれぞれの少なくとも一部を隠匿した状態の商品販売価格情報と、該複数の商品の合計金額情

報とを顧客クライアント 1 0 0₁ で受信し、図 1 5 に示したように、受信した一部を隠匿した状態の商品販売価格と合計金額とを顧客クライアント 1 0 0₁ の表示部（図示略）に表示するようにしたので、商品仕入れルートや販売戦略の相違による店舗間の商品価格差によらず、合計金額で低価格をアピールする機会を店舗に与えることができ、また、限度を超えた店舗間の低価格競争を避けることができる。

【 0 0 8 5 】

以上本発明にかかる一実施の形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成例はこの一実施の形態に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等があっても本発明に含まれる。

【 0 0 8 6 】

例えば、前述した一実施の形態においては、前述した商品販売仲介装置 5 0 0 の機能を実現するための商品販売仲介プログラムを図 2 6 に示したコンピュータ読み取り可能な記録媒体 1 0 0 0 に記録して、この記録媒体 1 0 0 0 に記録された商品販売仲介プログラムを同図に示したコンピュータ 9 0 0 に読み込ませ、実行することにより、商品販売仲介装置 5 0 0 の機能を実現するようにしてもよい。

【 0 0 8 7 】

同図に示したコンピュータ 9 0 0 は、上記商品販売仲介プログラムを実行する CPU 9 1 0 と、キーボード、マウス等の入力装置 9 2 0 と、各種データを記憶する ROM (Read Only Memory) 9 3 0 と、演算パラメータ等を記憶する RAM (Random Access Memory) 9 4 0 と、記録媒体 1 0 0 0 から商品販売仲介プログラムを読み取る読取装置 9 5 0 と、ディスプレイ、プリンタ等の出力装置 9 6 0 と、各部を接続するバス B U とから構成されている。

【 0 0 8 8 】

CPU 9 1 0 は、読取装置 9 5 0 を経由して記録媒体 1 0 0 0 に記録されている商品販売仲介プログラムを読み込んだ後、商品販売仲介プログラムを実行することにより、前述した商品販売の仲介に関する一連の処理を実行する。なお、記録媒体 1 0 0 0 には、光ディスク、フロッピーディスク、ハードディスク等の可

搬型の記録媒体が含まれることはもとより、ネットワークのようにデータを一時的に記録保持するような伝送媒体も含まれる。

【 0 0 8 9 】

（付記 1）複数の商品に関する注文情報を顧客に入力させる注文情報入力工程と

複数の店舗のそれぞれの商品販売価格を参照し、前記注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に前記顧客に比較提示し、いずれか一つの店舗を購入先として前記顧客に選択させる購入先選択工程と、

商品の注文内容に基づいて前記顧客により選択された店舗へネットワークを介して発注をかける発注工程と、

を含むことを特徴とする商品販売仲介方法。

（付記 2）前記購入先選択工程では、複数の商品のそれぞれの商品販売価格を少なくとも一部を隠匿した状態で前記顧客に提示することを特徴とする付記 1 に記載の商品販売仲介方法。

（付記 3）注文された複数の商品の運送に関して複数の運送会社のそれぞれの運賃を前記顧客に比較提示し、いずれか一つの運送会社を運送委託先として前記顧客に選択させる運送会社選択工程を含み、前記発注工程では、選択された運送会社へ前記ネットワークを介して運送業務を発注することを特徴とする付記 1 または 2 に記載の商品販売仲介方法。

（付記 4）前記注文情報に含まれる商品の配送予定日時より前に、当該商品の配送状況を前記ネットワークを介して前記運送会社に問い合わせ、配送予定に変更が生じた場合、その旨を前記顧客に通知する配送予定変更通知工程を含むことを特徴とする付記 3 に記載の商品販売仲介方法。

（付記 5）顧客から指定された複数の商品に関する注文情報を、ネットワークで接続されたサーバへ送信する送信工程と、

前記送信した注文情報に対応して前記サーバから送られてくる、前記複数の商品のそれぞれの少なくとも一部を隠匿した状態の商品販売価格と、該複数の商品の合計金額とを受信する受信工程と、

前記受信した一部を隠匿した状態の商品販売価格と合計金額とを表示する表示

工程と、

を含むことを特徴とする商品販売仲介方法。

(付記 6) コンピュータを、

複数の商品に関する注文情報を顧客に入力させる注文情報入力手段、

複数の店舗のそれぞれの商品販売価格を参照し、前記注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に前記顧客に比較提示し、いずれか一つの店舗を購入先として前記顧客に選択させる購入先選択手段、

商品の注文内容に基づいて前記顧客により選択された店舗へネットワークを介して発注をかける発注手段、

として機能させるための商品販売仲介プログラム。

(付記 7) コンピュータを、

顧客から指定された複数の商品に関する注文情報を、ネットワークで接続されたサーバへ送信する送信手段、

前記送信した注文情報に対応して前記サーバから送られてくる、前記複数の商品のそれぞれの少なくとも一部を隠匿した状態の商品販売価格と、該複数の商品の合計金額とを受信する受信手段、

前記受信した一部を隠匿した状態の商品販売価格と合計金額とを表示する表示手段、

として機能させるための商品販売仲介プログラム。

(付記 8) 複数の商品に関する注文情報を顧客に入力させる注文情報入力手段と

、
複数の店舗のそれぞれの商品販売価格を参照し、前記注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に前記顧客に比較提示し、いずれか一つの店舗を購入先として前記顧客に選択させる購入先選択手段と、

商品の注文内容に基づいて前記顧客により選択された店舗へネットワークを介して発注をかける発注手段と、

を備えたことを特徴とする商品販売仲介装置。

(付記 9) 顧客から指定された複数の商品に関する注文情報を、ネットワークで接続されたサーバへ送信する送信手段と、

前記送信した注文情報に対応して前記サーバから送られてくる、前記複数の商品のそれぞれの少なくとも一部を隠匿した状態の商品販売価格と、該複数の商品の合計金額とを受信する受信手段と、

前記受信した一部を隠匿した状態の商品販売価格と合計金額とを表示する表示手段と、

を備えたことを特徴とする商品販売仲介装置。

【 0 0 9 0 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、商品を販売する複数の店舗のそれぞれの商品販売価格を参照し、顧客により注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に顧客に比較提示した後、いずれか一つの店舗を購入先として顧客に選択させ、当該店舗に発注をかけるようにしたので、複数の店舗間の合計金額を容易に比較できるようになり、顧客の利便性を高めることができるとともに、商品の購入価格の低減に貢献することができるという効果を奏する。

【 0 0 9 1 】

また、本発明によれば、複数の商品のそれぞれの商品販売価格を少なくとも一部を隠匿した状態で顧客に提示するようにしたので、商品仕入れルートや販売戦略の相違による店舗間の商品価格差によらず、合計金額で低価格をアピールする機会を店舗に与えることができ、また、限度を超えた店舗間の低価格競争を避けることができるという効果を奏する。

【 0 0 9 2 】

また、本発明によれば、注文された複数の商品の運送に関して複数の運送会社のそれぞれの運賃を顧客に比較提示し、いずれか一つの運送会社を運送委託先として顧客に選択させ、選択された運送会社へネットワークを介して運送業務を発注するようにしたので、顧客が運賃面のメリットも享受することができるという効果を奏する。

【 0 0 9 3 】

また、本発明によれば、注文情報に含まれる商品の配送予定日時より前に、当該商品の配送状況をネットワークを介して運送会社に問い合わせ、配送予定に変

更が生じた場合、その旨を顧客に通知するようにしたので、配送遅延など顧客への注意喚起が必要な場合のみ通知が行われるようになり、顧客サービスの質を高めることができるという効果を奏する。

【 0 0 9 4 】

また、本発明によれば、サーバへ送信した注文情報に対応してサーバから送られてくる、複数の商品のそれぞれの少なくとも一部を隠匿した状態の商品販売価格と、該複数の商品の合計金額とを受信し、受信した一部を隠匿した状態の商品販売価格と合計金額とを表示するようにしたので、商品仕入れルートや販売戦略の相違による店舗間の商品価格差によらず、合計金額で低価格をアピールする機会を店舗に与えることができ、また、限度を超えた店舗間の低価格競争を避けることができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 に示した商品情報データベース 6 0 0 の一例を示す図である。

【図 3】

図 1 に示した商品カテゴリ情報データベース 6 1 0 の一例を示す図である。

【図 4】

図 1 に示したメーカ情報データベース 6 2 0 の一例を示す図である。

【図 5】

図 1 に示した店舗情報データベース 6 3 0 の一例を示す図である。

【図 6】

図 1 に示した店舗担当者情報データベース 6 4 0 の一例を示す図である。

【図 7】

図 1 に示した店舗商品情報データベース 6 5 0 の一例を示す図である。

【図 8】

図 1 に示した店舗運送情報データベース 6 6 0 の一例を示す図である。

【図 9】

【図 22】

一実施の形態における最終確認画面870の一例を示す図

870

メーカー 希望小売価格	Sストア	お客さま情報
紙おむつM 493132935712	¥2,300-	お名前 鈴木一郎
	¥1,***-	ご住所 千代田区大手町2-2-2
Z社ペーパー5個セット 495426805416 x 5	¥550-	電話番号 03-3548-2222
	¥***-	email Ichi@fujicom
合計	¥2,850-	お届け希望日 2001/04/12
		希望時間 午前9-11

商品重量 2kg
商品サイズ タテ+ヨコ+タカサ=100cm

配送について

B運送会社 最寄り店 神田営業所
03-3333-3333
千代田区 → 千代田区 ¥400-
商品+配送料=¥2,880-

最終確認

871

【図23】

880 一実施の形態における決済情報入力画面880の一例を示す図

881	メーカー希望小売価格	Sストア	882	お客さま情報
	¥2,300-	¥1,***-		お名前
				ご住所
				電話番号
				email
				お届け希望日
				希望時間
	商品重量	2kg		
	商品サイズ	タテ+ヨコ+タカサ=100cm		

883 配送について

日通送会社 最寄り店 神田営業所
03-3333-3333
千代田区→千代田区 Y400-

884

商品 + 配送料 = ¥2,880-
お支払い金額は、2,880-となります。

カード番号

カード名義

有効期限

885

お支払い

890

【図24】

—実施の形態における注文確認メール890の一例を示す図

送信者	運送手配担当
表題	運送ナビゲーションシステムによる手配のお知らせ
送信日時	2001/04/10 9:30

鈴木 様

ご指定の委託により、
担当運送会社：
B運送会社

がストアにてお買い上げの商品
紙おむつM ¥1,980-
Zペーパー5個セット ¥500-
合計 ¥2,480-
を配送料金 ¥400-で
お届けします。

合計のお支払い金額は、¥2,880-です。
クレジットカードにてお支払い済みです。

配達予定日は、
2001/04/12
午前9-11
ごろとなります。

お買い上げありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。

なお、現時点の特典マイル数は、18マイルとなっております。

【図 25】

895 一実施の形態における配送遅延メール895の一例を示す図

送信者	運送手配担当
被題	運送ナビゲーションシステムによる配送遅延のお知らせ
送信日時	2001/04/12 7:30

鈴木 様

ストアにてお買いあげの商品につきまして、
担当運送会社：
B運送会社
最寄り店 大手町支店
03-1234-5678
料金：関東一円東 ¥400

がご指定の時間に引き取りを終了し、
予定とおり

担当運送会社：
A運送会社
最寄り店 横浜西支店
045-123-5678

上記配達店に入っておりますが、
交通渋滞のため、到着が1時間程度遅れる見込みです。
変更後の配達日時は、2001/04/12 11:00頃です。
申し訳ありませんが、どうぞご了承ください。

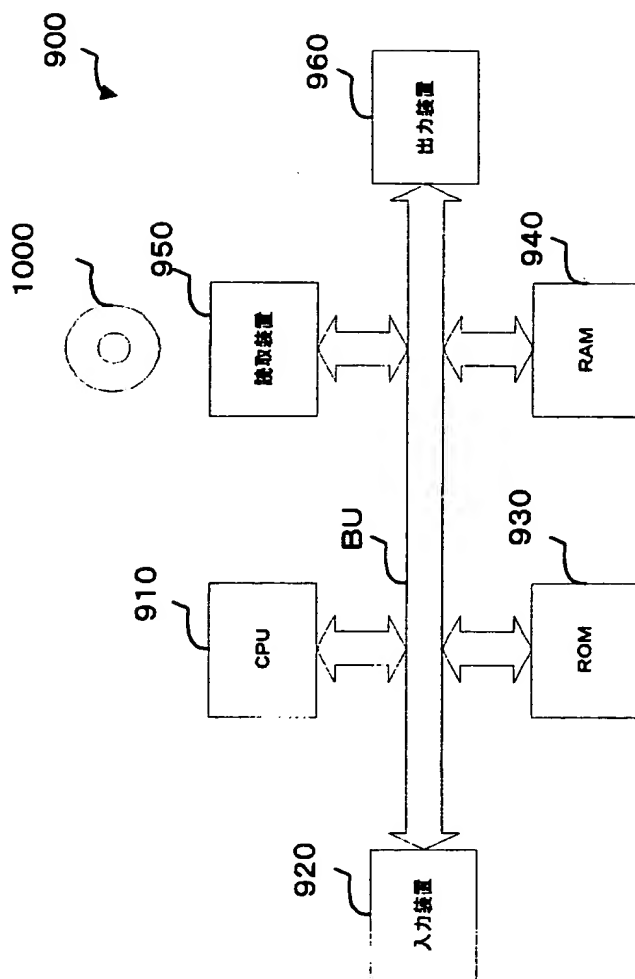
運送ナビゲーションシステム
運送手配担当 石井
03-3548-3333
ishii@tr-navi.com

配送内容

引取り先：東京都 × × × ×
03-3548-4343
ストア

【図 2 6】

一実施の形態の変形例の構成を示すブロック図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 オンライン上で複数の商品を購入する場合の顧客の利便性を高め、購入価格も低減させること。

【解決手段】 複数の商品に関する注文情報をインターネット 2 0 0 を介して顧客に入力させ、店舗商品情報データベース 6 5 0 を参照して注文された複数の商品の合計金額を店舗毎に顧客に比較提示し、いずれか一つの店舗を購入先として顧客に選択させ、商品の注文内容に基づいて顧客により選択された店舗へインターネット 2 0 0 を介して発注をかけるメイン制御部 5 3 0 を備えている。

【選択図】 図 1

特2001-128470

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社

図 1 に示した注文伝票ヘッダ情報データベース 6 7 0 の一例を示す図である。

【図 1 0】

図 1 に示した注文伝票ボディ情報データベース 6 8 0 の一例を示す図である。

【図 1 1】

図 1 に示した運送情報データベース 6 9 0 の一例を示す図である。

【図 1 2】

図 1 に示した顧客情報データベース 7 0 0 の一例を示す図である。

【図 1 3】

図 1 に示した運送会社情報データベース 7 1 0 の一例を示す図である。

【図 1 4】

同一実施の形態の動作を説明するフローチャートである。

【図 1 5】

同一実施の形態における商品一覧画面 8 0 0 の一例を示す図である。

【図 1 6】

同一実施の形態における商品一覧画面 8 1 0 の一例を示す図である。

【図 1 7】

同一実施の形態における店舗別販売価格一覧画面 8 2 0 の一例を示す図である。

【図 1 8】

同一実施の形態における顧客情報入力画面 8 3 0 の一例を示す図である。

【図 1 9】

同一実施の形態における内容確認画面 8 4 0 の一例を示す図である。

【図 2 0】

同一実施の形態における内容確認画面 8 5 0 の一例を示す図である。

【図 2 1】

同一実施の形態における運送会社一覧画面 8 6 0 の一例を示す図である。

【図 2 2】

同一実施の形態における最終確認画面 8 7 0 の一例を示す図である。

【図 2 3】

同一実施の形態における決済情報入力画面 8 8 0 の一例を示す図である。

【図 2 4】

同一実施の形態における注文確認メール 8 9 0 の一例を示す図である。

【図 2 5】

同一実施の形態における配送遅延メール 8 9 5 の一例を示す図である。

【図 2 6】

同一実施の形態の変形例の構成を示すブロック図である。

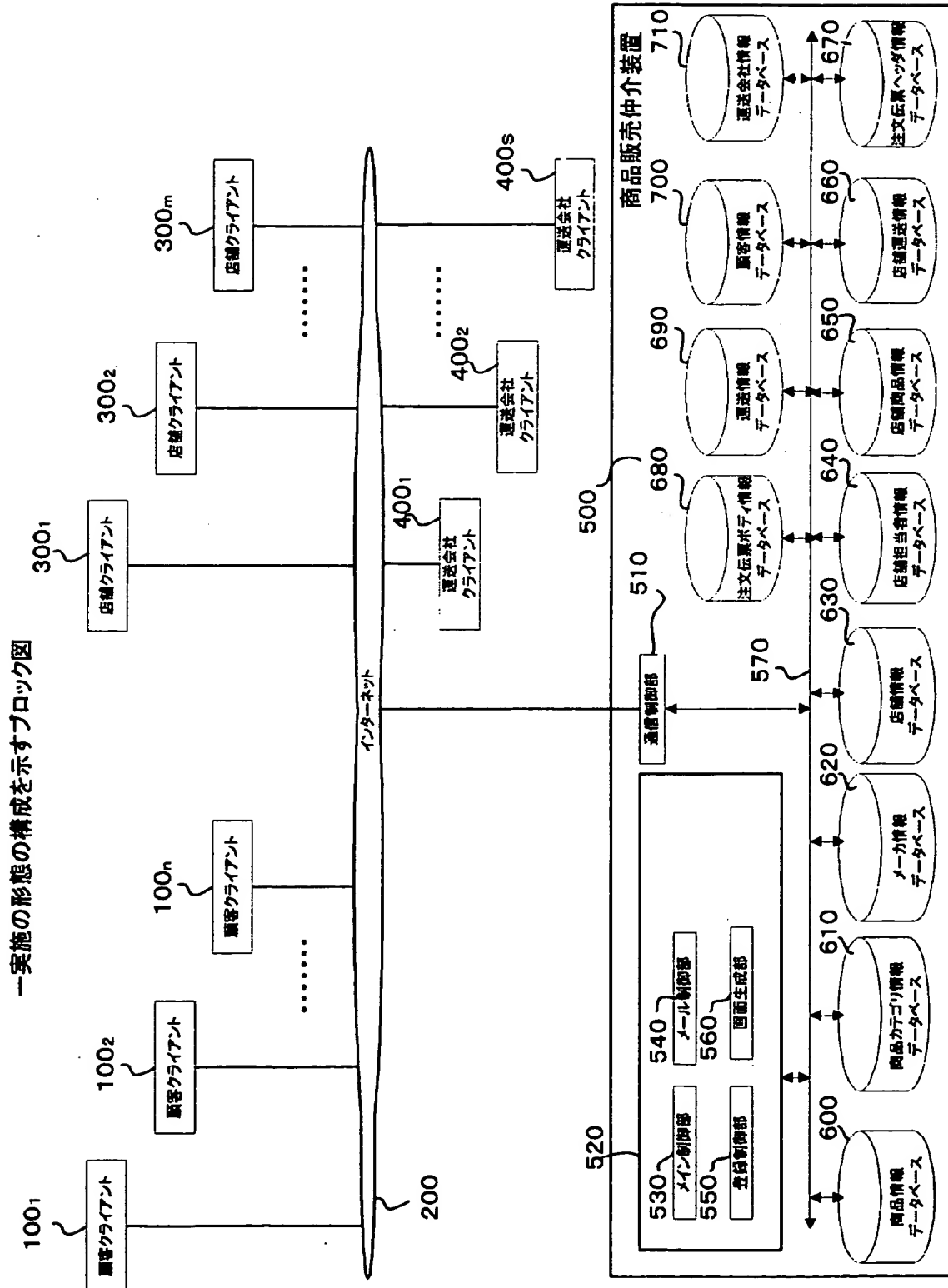
【符号の説明】

- 1 0 0₁ ~ 1 0 0_n 顧客クライアント
- 2 0 0 インターネット
- 4 0 0₁ ~ 4 0 0_s 運送会社クライアント
- 5 0 0 商品販売仲介装置
- 5 2 0 制御部
- 5 3 0 メイン制御部
- 5 4 0 メール制御部
- 5 5 0 登録制御部

【書類名】

図面

【図 1】



【図 2】

図 1 に示した商品情報データベース 600 の一例を示す図

600

JANコード	商品名	メーカーコード	希望小売価格	商品画像	商品カテゴリコード	商品サイズ	商品重量	組み合わせフラグ	個数
493132935711	紙おむつS	M0001	2300	km.gif	C0001	20	0.5	0	1

【図 3】

図1に示した商品カテゴリ情報データベース610の一例を示す図

610

商品カテゴリコード	商品カテゴリ	備考
C0001	日用品	x x x x

【図 4】

図 1 に示したメーカー情報データベース 620 の一例を示す図

620

メーカーコード	メーカー名	住所
M0001	××製紙株式会社	東京都×××××

【図 5】

図 1 に示した店舗情報データベース 630 の一例を示す図

630

店舗コード	店舗名	店舗市町村コード	住所	電話番号
S0001	Aスーパ	12345	東京都 x x x x x	03-3333-4444

【図 6】

図1に示した店舗担当者情報データベース640の一例を示す図

640

店舗コード	担当者ID	担当部署名	担当者名	電話番号	Eメール
C0001	R0001	電子商取引部	日本 太郎	03-5555-6666	info@xxx.com

【図 7】

図 1 に示した店舗商品情報データベース 650 の一例を示す図

650

店舗コード	JANコード	販売価格	更新日	在庫数	発注フラグ
C0001	493132935711	1800	2001/3/1	500	1

【図 8】

図 1 に示した店舗運送情報データベース 660 の一例を示す図

660

店舗コード	市町村コード	運賃	運送可否フラグ
C0001	320001	560	1

【図 9】

図 1 に示した注文伝票ヘッダ情報データベース 670 の一例を示す図

670

注文番号	入力日時	顧客ID	店舗コード	顧客市町村コード	集荷予定日時	配送予定日時	商品合計金額	商品合計サイズ
0101	2001/3/3 08:02	123456	C0001	035648	2001/4/10 13-14	2001/4/12 9-10	2480	100

商品合計重量	運送会社コード	運賃	備考
100	T0001	400	x x x x

【図 1 0】

図 1 に示した注文伝票ボイ情報データベース 680 の一例を示す図

680

注文番号	JANコード	販売価格	商品サイズ	商品重量
0101	493132935712	1800	30	0.5

【図 1 1】

図 1 に示した運送情報データベース 690 の一例を示す図

690

注文番号	店舗市町村コード	運送会社コード	サービスコード	運賃	集荷予定日時	配送予定日時	備考
0101	654321	T0001	S0001	400	2001/4/10 13-14	2001/4/12 9-10	x x x x

【図 1 2】

図 1 に示した顧客情報データベース 700 の一例を示す図

700

顧客ID	パスワード	氏名	住所	電話番号	顧客市町村コード	Eメール
12345	7569a	鈴木一郎	東京都千代田区大手町2-2-2	03-3548-2222	035648	ichi@fuji

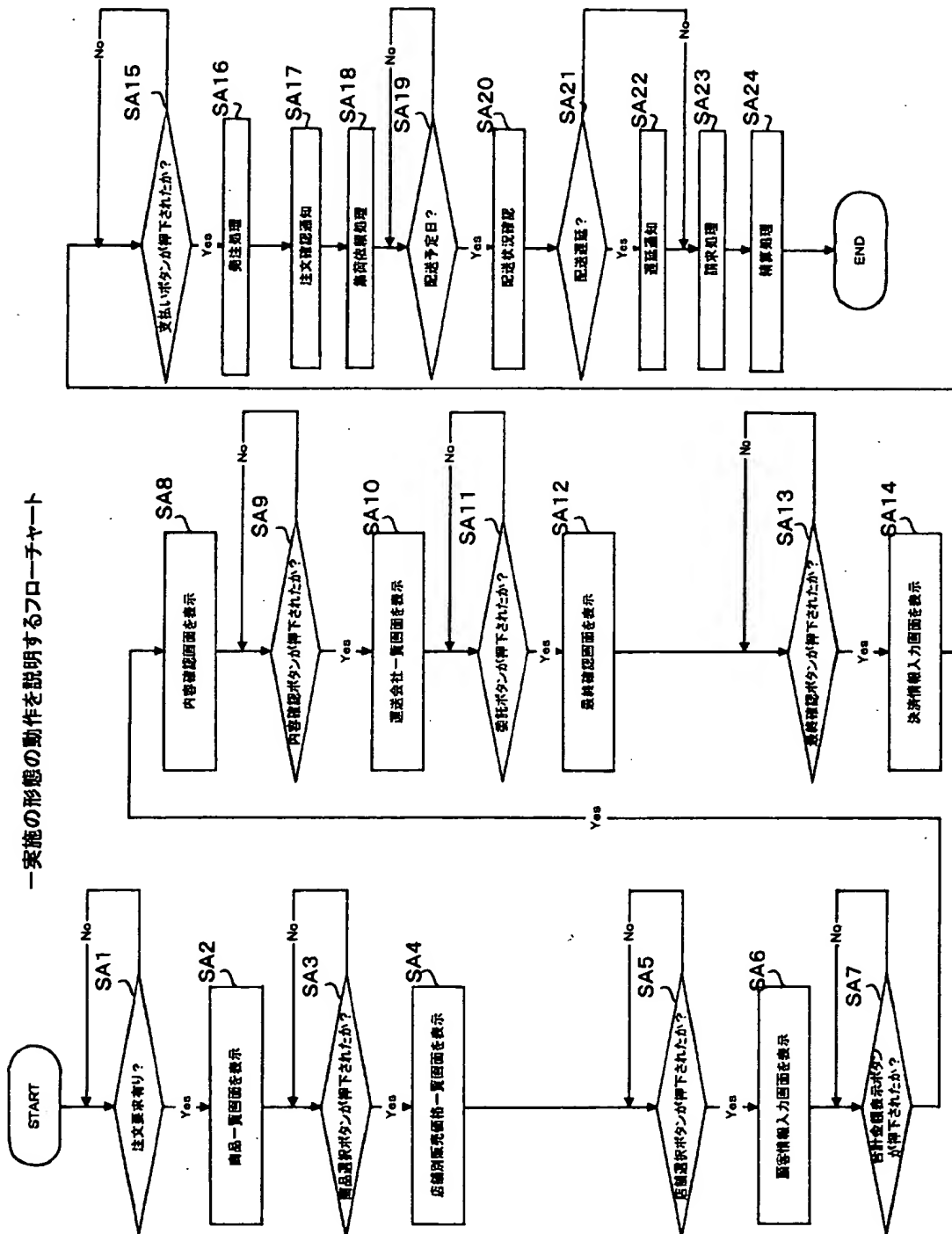
【図 13】

図1に示した運送会社情報データベース710の一例を示す図

710
└

運送会社コード	運送会社名	住所	電話番号	店舗市町村コード	顧客市町村コード	サイズ	重量	運賃
T0001	A運送会社	東京都 x x x	03-2345-6789	654321	035648	100	2	400

【図 14】



【図 15】

800

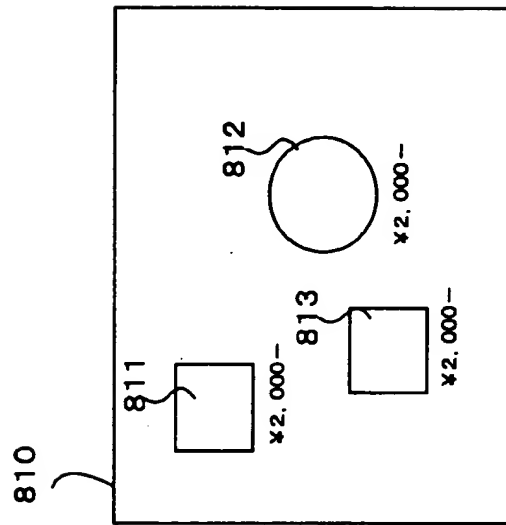
一実施の形態における商品一覧画面800の一例を示す図

商品名	JANコード	メーカー希望小売価格	注文	数量
紙おむつ S	493132935711	¥2,000-	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
紙おむつ M	493132935712	¥2,200-	<input checked="" type="checkbox"/>	<div>1 ▼ 2 3</div>
紙おむつ L	493132935713	¥2,800-	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
Z社ﾊﾞｰﾊﾟ	495426805416	¥100-	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
Z社ﾊﾞｰﾊﾟ5個セット	495426805416 × 5	¥500-	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
Y社ﾊﾞｰﾊﾟ	496436805420	¥100-	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
Y社ﾊﾞｰﾊﾟ5個セット	496436805420 × 5	¥500-	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
.				<div>上記商品を 購入する予定</div>

801

【図 1 6】

一実施の形態における商品一覧画面810の一例を示す図



【図 17】

—実施の形態における店舗別販売価格一覧画面820の一例を示す図

820

		メーカー 希望小売価格		Pスーパー		Sストア		Q医薬品チェーン	
紙おむつM 493132935712		¥2,300-		¥2,***-		¥1,***-		¥2,***-	
Z社ペーパー5個セット 495426805416 x 5		¥550-		¥***-		¥***-		¥***-	
合計		¥2,850-		¥2,580-		¥2,480-		¥2,470-	

※意図的に非表示

このお店で
購入する

821

このお店で
購入する

822

このお店で
購入する

823

【図 18】

一実施の形態における顧客情報入力画面830の一例を示す図

830

831

紙おむつM 493132935712 ¥2,300- ¥1,***-

Z社ﾊﾞｰﾊﾟ5個ﾍｯﾄ 495426805416 x 5 ¥550- ¥***-

合計 ¥2,850- ¥2,480-

832

メーカー Sストア
希望小売価格

商品重量 2kg
商品サイズ タテ+ヨコ+タカサ=100cm

833

配送料を含めた
合計金額表示

お客さま情報

お名前

ご住所

電話番号

email

お届け希望日

希望時間

【図 19】

一実施の形態における内容確認画面840の一例を示す図

840

841	メーカー 希望小売価格	Sストア	842	お客さま情報
紙おむつM 493132935712	¥2,300-	¥1,***-	お名前	鈴木一郎
Z社ペーパー5個セット 495426805416 x 5	¥550-	¥***-	ご住所	千代田区大手町2-2-2
合計	¥2,850-	¥2,480-	電話番号	03-3548-2222
			email	Ichii@fujii.com
			お届け希望日	2001/04/12
			希望時間	午前9-11
商品重量	2kg			
商品サイズ	タテ+ヨコ+タカサ=100cm			
			内容確認	843

【図 20】

一実施の形態における内容確認画面850の一例を示す図

850

851

紙おむつM 493132935712 ¥2,300- ¥1,***-

Z社バーバ5個セット 495426805416 × 5 ¥550- ¥***-

合計 ¥2,850- ¥2,480-

商品重量 2kg

商品サイズ タテ+ヨコ+タカサ=100cm

852

お客様情報

お名前 鈴木一郎

ご住所 千代田区大手町2-2

電話番号 03-3548-2222

email ichi@fujicom

お届け希望日 2001/04/12

希望時間 午前9-11

配送について

Sストアでは自社配送できません
システムに接続します。

内容確認

853

860
一実施の形態における運送会社一覧画面860の一例を示す図

861
紙おむつM 493132935712
Z社へハ5個セット 495426805416 × 5
合計

862
お客さま情報
お名前 鈴木一郎
ご住所 千代田区大手町2-2-2
電話番号 03-3548-2222
email lchi@fujitsu.com
お届け希望日 2001/04/12
希望時間 午前9-11

863
配送について
商品重量 2kg
商品サイズ タテ+ヨコ+タカサ=100cm

864
この集荷に委託する
A運送会社 最寄り店 大手町支店
03-1234-5678
関東一 関東 100 Y700-
商品+配送料= ¥3,180-

865
この集荷に委託する
B運送会社 最寄り店 神田営業所
03-3333-3333
千代田区 → 千代田区 ¥400-
商品+配送料= ¥2,880-

866
この集荷に委託する
C運送会社 最寄り店 東京支店
03-9999-9999
千代田区 → 千代田区 ¥700-
商品+配送料= ¥3,180-